

授業科目名	運動療法学Ⅱ		授業形態	演習	配当学期	2年（前期）
担当教員名	水谷 貴佐		単位数	1単位	時間数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕</p> <p>運動療法は患者の身体機能を非侵襲的に直接改善・向上することができる唯一の手段です。この授業では、多くの疾患で共通する、理学療法士が修得すべき基本的介入方法について学んでいく。</p> <p>〔学習目標〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 代表的疾患に用いられる関節可動域維持・拡大運動の手段について学ぶ。 2. 対象者の筋力低下の程度に応じた筋力増強トレーニングについて学ぶ。 3. バランス機能の改善、有酸素運動を中心とした運動処方について学ぶ。 					
授業回数	授業内容					
第 1 回	柔軟性トレーニングについて①					
第 2 回	柔軟性トレーニングについて②					
第 3 回	柔軟性トレーニングについて③					
第 4 回	柔軟性トレーニングについて④					
第 5 回	レジスタンストレーニングと指導法①					
第 6 回	レジスタンストレーニングと指導法②					
第 7 回	パワートレーニングと指導法①					
第 8 回	パワートレーニングと指導法②					
第 9 回	持久力トレーニングと指導法①					
第 10 回	持久力トレーニングと指導法②					
第 11 回	スピードトレーニングと指導法①					
第 12 回	スピードトレーニングと指導法②					
第 13 回	疾患に対する運動療法について①					
第 14 回	疾患に対する運動療法について②					
第 15 回	長期的トレーニング計画について					
評価方法	課題提出（50%）、課題発表（50%）で評価します。					
教科書 参考図書	〔教科書〕 運動療法学 第2版（文光堂）					
	〔参考図書〕 Crosslink理学療法学テキスト 運動療法学（メジカルビュー社）					
履修上の 留意点	運動療法の基礎を中心に講義をします。運動療法の理解には、解剖学、生理学、運動学などの基礎科目が重要であるので、それらの学習を並行して進めます。					
メッセージ	運動療法は理学療法 of 重要な治療手段の一つです。この講義では、並行して行われる各論の講義の基本を学ぶことを目標とします。					